

## 【東村山市】 胃がん検診 平成23年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく胃がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胃部X線検査）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	35-39歳
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	40,578	44,135	84,713
【東京都調査による対象者率(市町村部)：57.8%】			
実際の受診者数	667	912	1,579

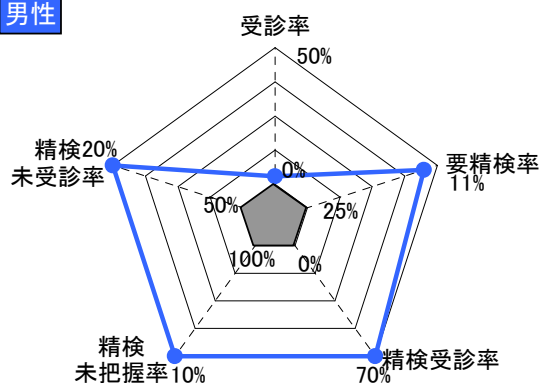
＜区市町村の受診率向上(精検含む)体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

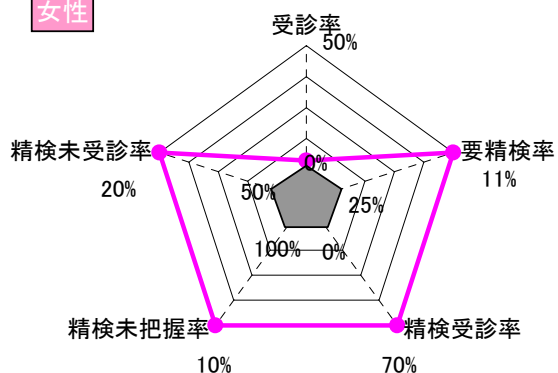
＜がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)＞

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	2.8%	3.6%	3.2%
要精検率	11%以下	12.4%	6.0%	8.7%
精検受診率	70%以上	85.5%	94.5%	89.1%
精検未把握率	10%以下	3.6%	3.6%	3.6%
精検未受診率	20%以下	10.8%	1.8%	7.2%
陽性反応適中度	1.0%以上	3.6%	1.8%	2.9%
がん発見率	0.11%以上	0.45%	0.11%	0.25%

男性



女性



【評価結果】

＜受診率＞  
『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、まずは目標値目指し、受診率の向上を図る必要があります。

＜要精検率＞  
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陰性)の割合が高くなり、受診者に不要な心配をさせるなど、検診の不利益を拡大します。

【東村山市】 肺がん検診 平成23年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく肺がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	40,578	44,135	84,713
【東京都調査による対象者率（市町村部）：64.5%】			
実際の受診者数	135	185	320

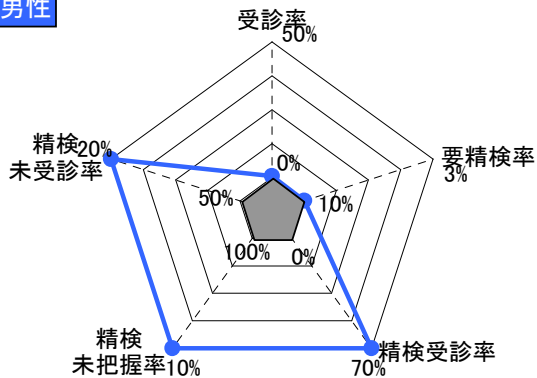
＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

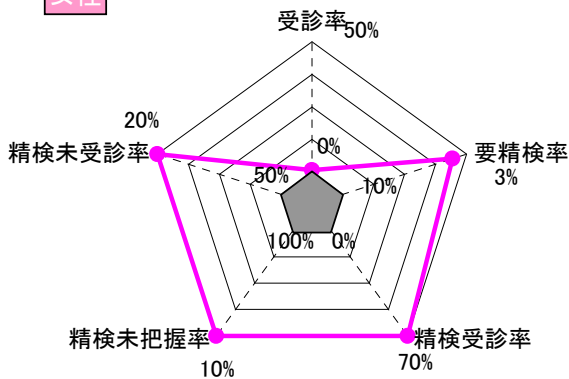
＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	0.5%	0.6%	0.6%
要精検率	3%以下	11.9%	3.8%	7.2%
精検受診率	70%以上	100.0%	100.0%	100.0%
精検未把握率	10%以下	0.0%	0.0%	0.0%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.3%以上	6.3%	0.0%	4.3%
がん発見率	0.03%以上	0.74%	0.00%	0.31%

男性



女性



【評価結果】

＜受診率＞  
『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、まずは目標値目指し、受診率の向上を図る必要があります。

＜要精検率＞  
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陰性）の割合が高くなり、受診者に不要な心配をさせるなど、検診の不利益を拡大します。

## 【東村山市】大腸がん検診 平成23年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査（二日法））	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	35-39歳
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	40,578	44,135	84,713
【東京都調査による対象者率（市町村部）：62.0%】			
実際の受診者数	910	1,394	2,304

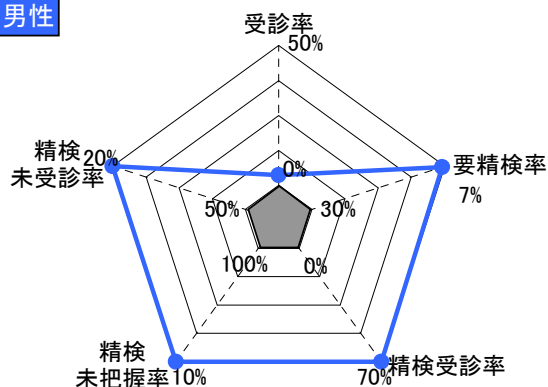
＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

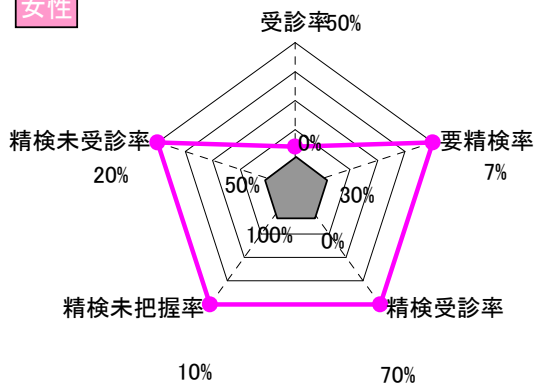
＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	3.6%	5.1%	4.4%
要精検率	7%以下	7.5%	5.2%	6.1%
精検受診率	70%以上	88.2%	87.5%	87.9%
精検未把握率	10%以下	2.9%	5.6%	4.3%
精検未受診率	20%以下	8.8%	6.9%	7.9%
陽性反応適中度	1.9%以上	8.8%	1.4%	5.0%
がん発見率	0.13%以上	0.66%	0.07%	0.30%

男性



女性



【評価結果】

＜受診率＞  
『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、まずは目標値目指し、受診率の向上を図る必要があります。

＜要精検率＞  
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陰性）の割合が高くなり、受診者に不要な心配をさせるなど、検診の不利益を拡大します。

## 【東村山市】 子宮がん検診 平成23年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく子宮がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		63,117	
【東京都調査による対象者率（市町村部）：67.1%】			
実際の受診者数		6,057	

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

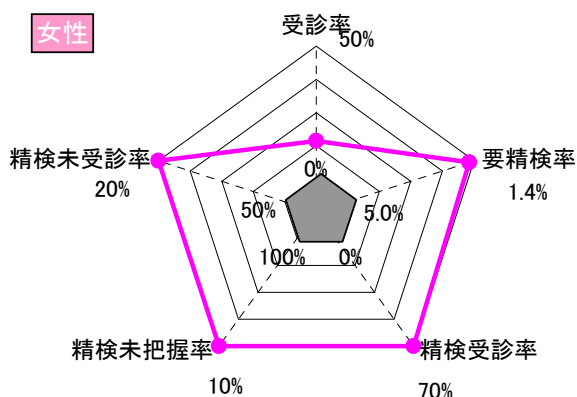
### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		14.3%	
要精検率	1.4%以下		1.5%	
精検受診率	70%以上		93.0%	
精検未把握率	10%以下		2.3%	
精検未受診率	20%以下		4.7%	
陽性反応適中度	4.0%以上		2.3%	
がん発見率	0.05%以上		0.04%	

### 【評価結果】

<受診率>  
『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、まずは目標値目指し、受診率の向上を図る必要があります。

<要精検率>  
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陰性）の割合が高くなり、受診者に不要な心配をさせるなど、検診の不利益を拡大します。



## 【東村山市】 乳がん検診 平成23年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（視触診及びマンモグラフィ）	している

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		44,135	
【東京都調査による対象者率（市町村部）：73.1%】			
実際の受診者数		4,673	

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		14.5%	
要精検率	11%以下		13.4%	
精検受診率	80%以上		93.2%	
精検未把握率	10%以下		5.8%	
精検未受診率	10%以下		0.9%	
陽性反応適中度	2.5%以上		1.8%	
がん発見率	0.23%以上		0.25%	

### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、まずは目標値目指し、受診率の向上を図る必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんでなかった方（偽陰性）の割合が高くなり、受診者に不要な心配をさせるなど、検診の不利益を拡大します。

